

## 6 連雀住区

### 1) 基本的な考え方

連雀住区は、「中央都市軸」と「東西都市軸」の交差する結節点にあり、市民センターや教育センターなど公共施設が集中している地域です。

都市計画道路3・4・7号（連雀通り）においては、「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」に着手した区間の整備を推進するとともに、その東側区間については、「連雀通り商店街地区まちづくり推進地区整備方針」に基づいた道づくり（街路事業）と一体となったまちづくりを進めます。

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業により、耐震性に課題のある施設の集約を図り都市再生の推進を図るとともに、防災の拠点や多様な機能が融合した元気創造拠点として整備を推進します。

災害に強いまちづくりを進めるため、道づくり、まちづくりに積極的に取り組むとともに、全体が公園的な都市空間となるよう誘導・調整を行うなど、良好な住環境の保全と創出を図ります。

また、日本無線株式会社三鷹製作所の移転や杏林大学井の頭キャンパスの開設など、大規模な土地利用転換が図られることから、周辺環境と調和したまちづくりや活力ある都市の形成につなげていくよう検討します。

多様な土地利用が可能な地域であることを踏まえ、周辺環境との調和による景観誘導を推進します。

### 2) 主な事業の方向

- 1 バリアフリーのまちづくり基本構想2022の重点整備路線である都道（連雀通り、吉祥寺通り、人見街道など）については、安全で快適な歩行者空間が整備されるよう都に要請します。
- 2 都市計画道路3・2・6号（調布保谷線）については、「環境に配慮した質の高い道路づくり」を基本に、緑豊かでシンボリックな道路としての整備や防災・環境対策等を含めた総合的なまちづくりの視点から整備が図られるよう東京都と協議し、整備を促進します。
- 3 市庁舎については、建替えに向けた検討手法等の研究を進めます。
- 4 連雀通りについては、引き続き東京都の新みちづくりまちづくりパートナー事業を活用した整備を進める他、都市計画道路の整備にあわせて、まちづくり推進地区や地区計画制度等の活用による一体的なまちづくりを推進します。
- 5 東八道路沿道については、地区計画制度の導入等を検討しながら、産業の振興と周辺環境との調和を図っていきます。
- 6 日本無線株式会社三鷹製作所の移転に伴い、その跡地の利活用について検討し、都市型産業の集積や周辺環境と調和した良好な市街地の形成につながるようなまちづくりを進めます。
- 7 杏林大学井の頭キャンパスの開設に伴い、周辺環境への配慮や交通対策を進め、学生・教職員との協働による活力あるまちづくりを進めます。



上連雀分庁舎

# 6 連雀住区



第II編  
第3  
都市空間整備の基本的な  
考え方の方向性

凡例	
<span style="color: red;">——</span>	平成 26 年度までに完了
<span style="color: red;">⋯⋯</span>	平成 27 年度以降に実施
<span style="background-color: lightblue; border: 1px solid blue;"> </span>	まちづくりの主な取り組み事例
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid orange;"> </span>	コミュニティ住区界
<span style="border-bottom: 1px dashed gray;"> </span>	三鷹市界
⊗	学校

※まちづくりの主な取り組み事例の範囲等は、おおよそのイメージです。